

- 03 梅雨が来る 命を守る防災
- 08 第40代女王卑弥呼 誕生
- 09 新型コロナワクチン 4回目
- 10 6月は食育月間
- 32 ぬくもり感じるコミュニティ

今号は5月18日時点で作成しています。
新型コロナウイルスの感染状況により、
掲載している内容は変更・中止もあり
えますので、必ずご確認ください。

林市政2期目スタート 「市民と創る朝倉！」

(2P 所信表明)



◎ 市長登庁式 (4月25日)



特集

命を守る防災

市民と創る朝倉！

朝倉市長 林 裕二

林市長が進める4つの柱

- 1 つよい「朝倉」**
 - ・復旧事業の総仕上げと復興の加速
 - ・災害に強い安全・安心なまちづくり
- 2 次世代「あさくら」**
 - ・地域づくりにおけるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進
 - ・脱炭素社会の実現に向けたゼロカーボンシティ宣言に係る取り組み
 - ・持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組み
- 3 ふるさと「朝倉」**
 - ・人口減少に歯止めをかけ、地方創生を進め、誇れるふるさとづくり
 - ・ウィズコロナに対応できるまちづくり
- 4 夢・希望・笑顔「あさくら」**
 - ・子どもから高齢者まで、健康で居心地のいいまちづくり
 - ・頑張る地域、住民とともに、住み続けたいまちづくり



【プロフィール】
 昭和25年6月16日生まれ、71歳。
 朝倉高校、九州大学教育学部を卒業後、青梅保育園園長、福岡県議会議員などを経て、平成30年4月に朝倉市長に就任。
 好きな言葉は「吾在俱(われどもにあり)」。趣味は散歩。

このたび、各方面の方々からの推薦と力強いご支援を賜り、第5代朝倉市長に就任いたしました。

引き続き朝倉市長として2期目の任を担わせていただき、こうして皆さまにごあいさつできることを誠に光栄に感じるところです。あわせて、その職責に、改めて身の引き締まる思いであり、市民の皆さまの信頼と期待を受け止め、誠心誠意その職務を全うするため全力を傾注してまいります。

「ふるさと朝倉」を取り戻しつつある

1期目の就任当初から、九州北部豪雨災害からの復旧・復興は最重要課題であり、私は「ふるさと朝倉を取り戻す」の理念の下、一日も早い復旧・復興に全力で取り組んでまいりました。毎年のように大雨災害に見舞われ、復旧への道のりは険しいものがありました。市民の皆さまのご理解とご協力のもと、国・県、そして応援いただいている自治体や関係機関など、多くの皆さまのお力添えをいただきながら、復旧工事は、被災直後とは見違えるように進捗しました。この場をお借りして、改めて感謝の意を表します。

復旧・復興の成果は目に見えるようになり、確実に「ふるさと朝倉を取り戻しつつあります。引き続き、将来世代にわたって安心して暮らせるまちづくりに向け、復旧事業の総仕上げを行うとともに、復興を加速させてまいります。

全ての世代に夢と希望と笑顔があふれるように

また、全国的な問題である人口減少・少子高齢化社会への対策は、朝倉市にとっても重要な課題です。人口減少に歯止めをかけ、地域に活力を取り戻すため、豪雨災害からの復旧・復興とともに、朝倉市の数多くの地域資源を十分に活用しながら、次の、そしてその次の世代も朝倉を愛し、誇ることのできるまちづくりを皆さまとともに進め、全ての世代の方が心豊かに暮らせる魅力ある朝倉市の実現を目指してまいります。

令和2年から世界中を混乱に巻き込んだ新型コロナウイルス感染症も未だ収束を見せず、予断を許さない状況にあります。コロナ対策は当然の喫緊の課題としながら、その他、環境政策、デジタル化の推進、防災、産業振興などさまざまな政策的課題をはじめ、朝倉跡地活用、新庁舎建設、甘木駅前周辺整備など具体的な課題が山積しています。

厳しい財政状況ではありますが、健全財政を確保しつつ、率先してこれらの課題の解決に全力を注ぎ、「朝倉市」を再興していく決意です。

市議会および市民の皆さまと一緒に、全ての世代に夢と希望と笑顔があふれる、誰もが住み続けたい、住み続けたいと思える朝倉市創りのため、努力を続けてまいりますので、皆さまのご協力とご理解を心からお願ひ申し上げます。就任のあいさついたします。

梅雨が来る

今年も出水期(梅雨・台風の時期)を迎えます。

朝倉市に大きな爪痕を残した平成29年7月九州北部豪雨から、間もなく5年。二度とあのような被害を受けたくないよう、私たちがどのような行動を取らなければならぬのでしょうか。

一人ひとりが日頃の準備や災害時の行動を考えておきましょう。

豪雨災害では、普段穏やかな小川が氾濫したり、車ごと流されてしまったりするなど、「まさか」と、思ってもよらぬ出来事。大切な命が失われることがあります。

「自主防災マップ」で、自宅や通勤、登下校の道など身の周りで起こり得る災害の危険性を確認しましょう。適切なタイミングで避難できるように準備しておくことが大切です。また、避難するタイミングや場所、連絡方法について、家族で話し合ひましょう。日頃から備える「防災グッズ」といつときに慌てず、安全に避難行動を取る「こと」がご自身のライフラインになります。

問 市防災交通課(0928-7554)

自宅・勤め先など身の周りは安全？



自分の家の周りで危険な場所は？

自主防災マップ (ハザードマップ) で確認を

自主防災マップは、水害、土砂災害、地域で出された意見などを地区(地域)ごとにまとめたハザードマップです。自宅や通学路(通勤路)、勤務先などの周りに危険な場所がないか確認しておきましょう。

マップは、過去に全戸配布しています。市防災交通課(本庁別館)でも配布しています。



▲自主防災マップ一覧

Web版ハザードマップ・避難支援マップ

土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの危険箇所などを確認できます。

また、スムーズな避難に役立てるため、避難所に関する情報も公開。各避難所の開設時間や混雑状況などが確認できます。



▲Web版ハザードマップ・避難支援マップ



避難所の開設

避難所は、「ピーポート甘木」「朝倉地域生涯学習センター」「らくゆう館」の3施設を固定とし、予測される災害や避難者数、発令する避難情報などを考慮して、開設します。

また、開設した避難所への避難者数や今後の気象状況の予測に基づき、時間に余裕を持って追加開設します。

※避難所では、消毒や検温などの新型コロナウイルス感染症対策や冷風機の設置などの熱中症対策を行います。



▲市指定避難所一覧

Point

「避難」とは「自分の命を守るために安全を確保すること」

「避難所へ行くこと」だけが「避難」ではありません。自宅周辺に危険なところ(河川や土砂災害警戒区域、災害復旧工事が終わっていないところなど)がある場合、早めに安全な場所へ避難すること(「水平避難」)が大切です。

しかし、急な大雨や河川の増水などによって避難所へ行くことがかえって危険な場合や夜間で見通しが悪い場合は、自宅や近所の2階以上の建物、土砂災害が発生するような崖から離れた部屋など、より安全な行動(「垂直避難」)を取るようしてください。

また、自宅周辺が安全な場合は、水・食料など生活に必要なものを準備し、2階以上の場所で身の安全を確保(「在宅避難」)し、自宅が危険な場合も、安全な親戚知人宅に避難すること(「縁故避難」)を考え、少しでも身の危険を感じるような場合は、早めに安全な避難を行ってください。



避難のタイミングは？



自分はこのエリア？
自分の住む地域はどのエリアか確認しておきましょう。



例えば……
大雨警報(土砂災害)発表

Bエリア →警戒レベル⑥高齢者等避難
・Aエリア以外の地域

Aエリア →警戒レベル④避難指示
・杷木地域(全域)
・朝倉地域(宮野地区山後区、朝倉地区山田区)
・甘木地域(高木地区、三奈木地区荷原区)

Point

・災害復旧の途上にある「Aエリア」は、土砂災害に関して1段階先行して避難情報を発令します。
・市からの避難情報は、市が総合的に判断して発令するため、判断の参考となる情報が発表されたとしても発令されない場合があります。下表は参考としてご確認ください。

【洪水、大雨、土砂災害に関する基準】

【警戒レベル】避難情報		判断の参考となる情報	
Aエリア	Bエリア	洪水に関する情報	土砂災害に関する情報
【警戒レベル⑥】緊急安全確保		・氾濫発生情報 ・大雨特別警報(浸水害)	・大雨特別警報(土砂災害)
警戒レベル④までに必ず避難!!		・氾濫危険情報 ・洪水警報の危険度分布(非常に危険)	・土砂災害警戒情報 ・土砂災害の危険度分布(非常に危険)
【警戒レベル④】避難指示	【警戒レベル④】避難指示	-	・大雨警報(土砂災害) ・土砂災害の危険度分布(警戒)
【警戒レベル③】高齢者等避難	【警戒レベル③】高齢者等避難	・氾濫警戒情報 ・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布(警戒)	-
【警戒レベル②】	【警戒レベル②】	・氾濫注意情報 ・洪水注意情報 ・洪水警報の危険度分布(注意)	・大雨注意情報 ・土砂災害の危険度分布(注意)
【警戒レベル①】	【警戒レベル①】	・早期注意情報[警報級の可能性(中、高)]	

【取るべき避難行動】

警戒レベル⑥緊急安全確保…災害が発生または切迫した状況で命の危険があるため、直ちに安全を確保する。
警戒レベル④避難指示…災害発生のおそれが高い状況であるため、危険な場所から全員避難する。
警戒レベル③高齢者等避難…高齢者など避難に時間のかかる人とその支援者は避難する。その他の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難したりする。
警戒レベル②…避難に備え自らの避難行動を確認する。
警戒レベル①…災害への心構えを高める。

【寺内ダムに関する避難基準(佐田川流域住民を想定)】

【警戒レベル】避難情報	判断の参考となる情報
【警戒レベル④】避難指示	・異常洪水時防災操作開始 ・異常洪水時防災操作1時間前 ・異常洪水時防災操作3時間前
【警戒レベル③】高齢者等避難	・異常洪水時防災操作予測情報

※異常洪水時防災操作とは、ダムの計画規模を超える洪水が予想され、これ以上ダムに水を貯められなくなる場合に、下流への放水量を増やす操作のことです。異常洪水時防災操作予測情報は、その数時間前に出されます。



Interview

人を知り、地域を知り、災害を知る手段を

災害リスクを知らないと次の行動に移れない

立石地区で民生委員をしていて、6年目です。活動中、それまで健康だった人が家に閉じこもり、徐々に弱り、人との交流がなくなって亡くなるケースを多く経験しました。また、近年、災害が大規模化していて、多くの高齢者が亡くなっています。「皆さんの命を守るためにはどうしたらよいか」と考え、2年前に防災士の資格を取りました。民生委員の役割と防災とを結び付けて、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で自分らしく活躍できるような社会ができたという思いで、活動を続けています。

防災とは、命を守ること。そして、命を守るためには、まず「災害リスクを知る」こと。自分の住んでいる地域にリスクがあるのか、ないのかを知らない人がたくさんいると感じます。河川やため池の決壊を想定し、「ここは5m 浸水する」「10分でここまで水が来る」ことがハザードマップにきちんと書かれています。リスクの少ない人は「2階に上がれば大丈夫」、リスクのある人は「避難所」「ホテル」「親戚の家」など、具体的に避難先を考えましょう。

「災害は毎年必ずやって来る」 命はひとつしかない

平成29年豪雨で、寺内で1時間に129mmの雨が降りました。体験した人は「息が苦しくなるほどの雨だった」と言われます。黒川では、70～80mmの雨が約9時間降り続きました。あの線状降水帯がもう少し広がってれば、朝倉市の警戒区域全域が全壊するぐらいの脅威を私は感じています。災害は「忘れたころにやって来る」ものではなく、「毎年必ずやって来る」ものとして、とにかく備えることが大事です。

災害情報を知るためには、dボタンや防災メールがとても有効だと思います。パソコンやスマホで、リアルタイムに雨予測や河川ライブカメラの情報を見ることができます。「携帯電話を持たない人は？」という声もありますが、一部地区のアンケートでは、携帯電話を持っている人が95%という結果も。95%の人が持っているならば、災害情報を知る手段として、それを使う必要があります。携帯電話に慣れない人は、dボタンや家族などから電話で避難コールを。携帯電話を持たない人は、隣近所の人声が掛かって、一緒に避難することが必要です。

立石地区では防災士会を立ち上げました。隣近所の人で、配慮が必要な人を支援していく体制を作っていければと思っています。



立石防災士会
原口健二さん



▲ため池ハザードマップ

▲コミュニティセンターや公民館などで、「災害リスクを知る」必要性を訴える原口さん。実際に増水したときの写真や動画を見せる工夫もしています。

自分の命は自分で守ろう



情報収集ツール

ひとつでも多くの情報収集手段を確保

災害時には、今自分の身の周りでどういう危険が迫り、どうしなければならないかをいち早く知る必要があります。そのために、市防災行政無線や地域放送、テレビ、ラジオ、メール（緊急速報メール、防災メール・まもるくん）、インターネットなど、ひとつでも多くの手段を準備しておきましょう。

特にリモコンdボタン、防災メール・まもるくん、防災行政無線テレホンサービスの3つは必ず確保しておきましょう。

リモコンdボタン

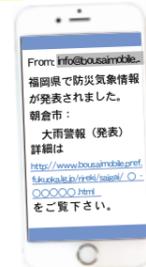
テレビを視聴中にリモコンのdボタンを押すと、気象情報や雨量・河川の水位情報、避難情報などを確認できます。



パソコンやスマートフォンがなくても、テレビを見ながら簡単なりモコン操作で情報を確認できますので、確認方法を覚えておきましょう。

防災メールまもるくん

- 受信できる情報
- ①地震、台風、大雨などの気象情報
- ②避難情報
- ③地域の安全に関する情報など



- 登録方法
- ① mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp に空メール(件名も内容も入力せずに送信するメール)を送信する。
- ② 返信メールが届くので、その内容に従って登録を行う。



▲簡単登録

防災行政無線

【警戒レベル】 避難情報	放送イメージ
【警戒レベル⑤】 緊急安全確保	「サイレン 30 秒」→無音 10 秒→「サイレン 30 秒」→無音 10 秒→「サイレン 30 秒」→「音声放送」
【警戒レベル④】 避難指示	「サイレン 30 秒」→無音 10 秒→「サイレン 30 秒」→「音声放送」
【警戒レベル③】 高齢者等避難	「チャイム音」→「音声放送」→「チャイム音」

防災行政無線テレホンサービス

「放送が聞き取れなかった」「もう一度内容を確認したい」

そんなときに便利です。

ゼロイチハチゼロ キュウキュウキュウ サンパチロク
☎0180-999-386

※ただし、通話料がかかります。



いざというときに備えて

水のうで汚水の逆流対策を

豪雨時は、下水が逆流し、トイレや浴室、洗濯機の排水口などから、水が噴き出ることがあります。「ゴポゴポ」と異常な音が聞こえてきたら、危険信号です。

簡単な対策として、水のうの設置が有効です。また、豪雨時は洗濯や風呂の大量排水によって逆流してしまうこともあるので、できるだけ時間をずらすことも、有効な対策のひとつです。

【水のうの作り方】

- ①大きめ(45ℓ程度)のビニール袋を二重に重ね、半分程度(20ℓ程度)の水を入れる。
- ②中の空気を抜きながら、口をしっかりと縛る。

【設置イメージ】



※トイレに設置する場合は、便器内の水があふれるおそれがあります。様子を見ながらゆっくりと設置してください。

問 市上下水道課(☎ 22-1122)



いざというときに備えて

水・食料は1週間分の備蓄を

【非常持出品の例】

- マスク(タオルなど)
- アルコール消毒液(ウェットティッシュなど)
- 歯ブラシ □ 持病薬 □ 体温計
- 毛布など □ 食料と飲料水
- 着替え □ 携帯電話(充電器)

発災直後は、ライフラインがまひし、物資の支援が行き届きにくくなります。「在宅避難」「縁故避難」では、日ごろの備えがより重要となります。



ペットの避難スペース

「朝倉地域生涯学習センター」が避難所として開設される際に、隣接の「市役所朝倉支所の車庫」をペットスペースとして開放します。

【使用上の注意】

- ・飼主の責任で管理をお願いします(ケージ・フードなどの持参、使用前後の清掃など)。
- ・朝倉地域生涯学習センター内避難所受付で申込が必要です。